

都市再生整備計画(第3回変更)

らいこうじちく
来迎寺地区

にいがた ながおかし
新潟県 長岡市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	ながおかし 長岡市	地区名	まいこうじちく 来迎寺地区	面積	985 ha
計画期間	平成	20	年度	～	平成	23	年度
				交付期間	平成	20	年度
					～	平成	23
							年度

目標

- 都市基盤の再生とひとに優しく災害に強いまちづくり
- 小目標① 都市基盤を形成する公共施設の再点検を行い、災害から市民生活を守るために必要な居住空間の再生・整備を図る。
 - 小目標② 地域住民・事業者・行政が協働して、来迎寺地域における都市基盤の再構築による活性化とまちの魅力づくりを図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 旧越路町は、新潟県のほぼ中央部にあり越後平野の南西端に位置し、東部を「大河・信濃川」、中央部を洪海川が形成するなだらかな三角州が形成する肥沃な土地と豊かな水の利に恵まれ、古くから良質な米の産地として知られている。また、豊富な地下資源（天然ガス）にも恵まれるとともに、郊外型の地域産業も発達し田園都市として市街地の形成がなされている。この他に付近の丘陵地帯には、古代の石器や土器等が出土し、長者屋敷や百塚等の遺跡が発掘されている。
- 当地区は、昭和45年9月に高度経済成長時代に対応すべく地域の将来像の施策として、「越路町開発長期構想(総合計画)」を策定した地区である。この計画では長岡都市圏域への人口流出による過疎化へ歯止めをかけるため、居住用地確保の必要性があった。このことから、まちの中心部であり、以前は小千谷・魚沼地方への地域間の交通結末点としての宿場町として繁栄した当地区において、昭和46年からJR信越本線来迎寺駅周辺の46.2haについて、新たなまちの中心部として民間主導による宅地造成が施工された地区である。
- 開発当初から鉄道線路（JR信越線）により分断された市街地形成が課題となっており、地域間のコミュニティーの低下が進行するとともに、居住開始より数十年経過したこともあり、地域住民の多くは核家族化が進行していることやそれに伴う少子高齢化の問題点として持ち上がってきた。これらより、地域の活性化について検討を行い、平成13年3月に来迎寺駅周辺について地域住民及び行政との協働による“中心市街地活性化構想”を策定したが、財政状況との整合性及び地域住民の活性化に直接繋がる内容でないなど課題を多く残したまま現在に至っている。
- また、当地区では、近年多発している都市型災害（集中豪雨など）や新潟県中越地震に伴う被災の経験を踏まえ、“越路まち・みらい工房”が発足し、空洞化した市街地の活性化に関する検討や少子高齢化社会に適應する災害に対する備えと対応すべく「日本一災害に強いまちづくり」について検討している。

課題

- 越路地域の中心拠点として、また市町村合併後の広域化した“新・長岡市”の副次的拠点整備区域として、周辺住民に限定しない利便性の高い防災拠点施設の整備が求められている。
- 人口減少・高齢化が進んでおり、地域まちづくり経営における経済活力の保全に必要な新たな活力とそれらを創出する都市機能に関連する基盤施設の再生および再構築が緊急の課題となっている。
- 都市型集中豪雨に伴う浸水被害が局部的に発生しており、河川改修事業（洪海川・須川）の進捗率の遅延により、地域住民の被害対策が皆無となっていることから、被害対策に強い生活環境づくりが望まれている。
- 少子高齢化の地域社会における自治防災活動の位置づけを明確にし、防災力の強化を緊急に図らなければならない。
- 高齢者・障害者に対応する交通弱者対応など移動円滑化およびバリアフリーに関する基本構想をベースとした歩行空間の整備が不十分となっている。

将来ビジョン（中長期）

- 長岡市では、市町村合併という基本的な枠組みの変化に加え、少子高齢化の急速な進展、環境問題の深刻化、高度情報通信社会の到来、市民ニーズの多様化など、市政をとりまく環境は大きく変化しており、この変化に対応するため、計画的かつ安定的な行政運営が求められている。また、魅力あるまちづくりを進展させるため、「長岡地域新市建設計画」及び「長岡市復興計画」を踏まえて、今後の時代の潮流、社会経済情勢の変化、財政状況を勘案した上で、市政の一層の推進を目指して「総合計画」を策定する。
- 市民の視点に立った市民活動・地域活動の推進・・・全てを行政が中心となつて行うのではなく、市民・地域・行政など様々な主体がそれぞれの役割に応じた協働体制づくりを行う。
 - 顔が見える地域の支え合いの仕組みづくり・・・少子高齢化社会に対応すべく安心して暮らせるように、高齢者を地域で支える仕組みを構築する。
 - 高品質の製品づくりと高付加価値の推進・・・長岡市の地域特性などにマッチングした既存の産業を再構築する社会基盤整備や新たな産業を創出・育成するため、必要な各種基盤整備、ブランド化を推進していくとともに、人材育成や産学連携などを推進する。
 - 市民や来訪者にとって安全・快適・便利なまち・・・市民の暮らしやすさの視点に立った都市基盤の整備に加えて交流人口を増やすとともに、災害に強い都市基盤の整備・再構築を行い、全国のモデルとなるまちづくりを行う。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
自主防災活動参加人数	人	地域防災活動（自主防災・消防活動）の参加人数	地域防災活動において、防災訓練及び防犯訓練に参加することにより、地域防災力の向上を目指す。	10	H17	250	H23
地域活動ボランティア参加人数	人	地域活動のボランティア参加人数	既存施設の維持管理を周辺住民が支えてきたが、少子高齢化に伴い参加者が激減していることから、地域における魅力の再発信と地域力・市民力の向上を目指す。	10	H16	50	H23
冠水区域の解消	%	区域内の冠水区域の解消	都市雨水対策事業の推進により、防災調整池・貯留管・浸水対策マップ・水防倉庫の整備を行い、冠水地区の解消を目指す。	30	H16	0	H23

来迎寺地区(新潟県長岡市) 整備方針概要図(第3回変更)

目標	都市基盤の再生とひとに優しく災害に強いまちづくり	代表的な指標	自主防災活動参加人数 (人)	10 (H17年度) → 250 (H23年度)
			地域活動ボランティア参加人数 (人)	10 (H16年度) → 50 (H23年度)
			冠水区域の解消 (%)	30 (H16年度) → 0 (H23年度)

